健康経営目標指数の実績

◆当社が「健康経営の目標指数」と設定している、アブセンティーイズム・プレゼンティーイズム・ワークエンゲイジメントの実績値と目標値

指標等	2022年度	2023年度	2027年度 目標値	他社比較等
測定人数および回答率	1,158名 /97.9%	1,216名 /98.3%	–	–
プレゼンティーイズム （出勤はしているものの、健康上の問題によって完全な業務パフォーマンスが出せない状況。）	86.7%	87.4%	87%以上	業界平均 84.6%
アブセンティーイズム （傷病による欠勤。）	14.8‰	–	10‰未満	–
ワークエンゲイジメント （「活力」・「熱意・「没頭」について、「そうだ」・「まあそうだ」・「ややちがう」・「ちがう」のそれぞれの回答数に3・2・1・0の重みづけを行ない、その平均値を求めた後、更に3つの平均値で平均を取り、「総合」としている。）	1.61	1.62	2.0以上	–

◆数値目標の設定に至った根拠

プレゼンティーイズム：当社は他社との比較で平均値を上回っていることから、今後もこの水準を維持することを目標としました。

アブセンティーイズム：昨今の休職に至る要因が複雑化しており急激な回復を見込むのは困難と考えられるため、改善を前提としつつも、現状を「底」として一旦は現実的な値を置きました。今後の推移をみながら適宜見直しを行なうこととします。

ワークエンゲイジメント：人事制度改革、1-on-1ミーティング等の浸透を通したコミュニケーション改善、賃金制度の改善、新型コロナウィルス対策の緩和によるコミュニケーション機会の増加等、向上・改善につながる材料が増えることを踏まえ、「そうだ」・「まあそうだ」以上の回答の増加を目指すこととし、ついては、「まあそうだ」の「重み」である「2.0」以上を目標値とします。

Copyright © ChudenCTI Co., Ltd. All rights reserved.